

みなとっふ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2020年10月

Vol.42

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台



発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとっふ編集室



<https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



CONTENTS

2 「高輪ゲートウェイ駅」紹介

三田台公園

リニューアルされた三田台公園へ
行ってみよう！

3 この街にこの人あり

おみしげる
尾身 茂 先生

新型コロナウイルス感染症対策分科会会長



4 5 地域のあしあと 仙洞仮御所のあゆみ



6 7 With コロナ時代の 新しい生活様式

- テイクアウトと全国配送に
力を入れる飲食店
- 頑張り！北里研究所！
応援チケットキャンペーン
- テレワーク — 働き方の変化
- 小・中学生・高校生を持つ
家庭の生活の変化

8 区からのお知らせ

表紙絵 切り絵 「助六花見之圖」 (作者) 伊関捷一さん (高輪在住)

「坂の名前にみる人々の暮らし」

江戸（東京の中央部周辺）の街を知りたいと思っ
たら坂と橋の名前を覚えることだ、と教えられたこ
とがある。江戸城の周辺には有名な坂が多く、九段
坂、三宅坂、全国区の知名度がある神楽坂などすぐ
に思い当たる。港区でみると、赤坂はこの坂か判
然としないがやはり全国区の乃木坂がある。

「みなとっふ」の対象地域である高輪地区にも坂
は数多い。魚籃坂、伊皿子坂、桂坂、柘榴坂、日吉
坂など歴史を感じさせる名称が多い。なかでも聖坂
は高野山東京別院に通う僧（高野聖）から由来した
と伝えられ、趣が深い。橋については識見が乏しく、
今回は触れないが古川が流れる地域だけにまつわる
話も多いことだろう。

ところで、なぜか坂に関心が高いの
は世界共通の傾向ではなさそうであ
る。外国の事情に特に詳しいわけでは
ないが、丘（ヒル）という名称はしば
しば目にするものの、坂はあまりお目
にかからない。中国では北京は平らだ
から坂がないのは理解できるが、文献
をみてもあまりお目にかからない。ほ
かのアジア各国も全体像はわからない
が、坂に代えて丘の表記は多いように
感じられる。インドネシアやマレーシ
アでは丘（ブキット）と付く地域をし
ばしば目にする。どうも坂に名前を付
けるのは日本特有の文化のように感じ
られる。

現代では店舗を探す時も初めて友人
の家を訪れるときも、坂や橋を探すこ
とは不要となった。携帯型の情報端末、
スマートフォン の普及によって番地を
入力し検索するだけで簡単かつ確実に
行き場所を知ることができる。日々の
生活には坂や橋の名称は遠ざかりつつ
あるようだ。しかし桂坂の由来が「カ
ツラを付けた僧侶が行き倒れたから、
の説もある」などと聞くと楽しくなっ
てくる。

坂で歴史を振り返るのも、全く無駄
というわけでもなさそうだ。

「高輪ゲートウェイ駅」紹介

令和2(2020)年3月14日にJR東日本の高輪ゲートウェイ駅がオープンした。山手線に新駅ができるのは久しぶりで、隣の品川駅の開業が明治5(1872)年というからほぼ150年ぶりに高輪地区に利便性の高いJRの駅が誕生したことになる。山手線と京浜東北線の停車駅として利用されている。

駅舎は著名な建築家の隈研吾氏のデザインで、「折り紙をモチーフにした障子を連想させる大屋根」が特徴。吹き抜けと大きなガラス面が設けられ、従来の山手線の駅のイメージを一新している。

デザインだけでなく、最新テクノロジーの導入実験の場としてJR東日本は位置付けている。太陽光パネルや小型風力発電機の設置、案内や警備ロボットの試験導入、さらには消毒作業や搬送についてもロボットの導入実験を行っている。今後の駅舎の整備について高輪ゲートウェイ駅が実証試験の場になるようだ。この駅の最新技術、今後どのように各駅に広がっていくのか注目されている。こうした先進技術の導入と並んで注目されるのが駅周辺の開発事業。「品川開発プロジェクト 第I期」(令和6(2024)年頃完了)によると四つの街区とし、全体の敷地面積は72,000m²、延べ床面積は851,000m²で、住宅、教育施設、商業施設、ホテル、会議場などの建設が予定されている。すべての開発が終わる令



外観 提供: JR 東日本

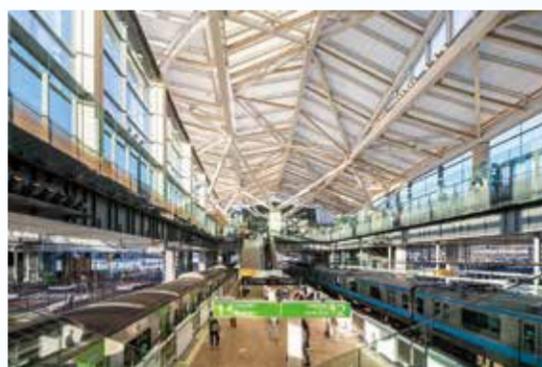
和14(2032)年頃には駅の利用者数は恵比寿駅や五反田駅と同程度の日13万人とJR東日本では想定している。

現段階では高輪側と港南側を結ぶ通路はなく、港南側改札口を設置する計画も決まっていないが、鉄道線路上の上空を横断して駅の両サイドを結ぶ計画が進められている。エスカレーター、エレベーターを備えたバリアフリーの歩行者専用通路を令和6(2024)年頃には完成の予定。今は鉄道によって遮断されている感のある高輪・港南だが、通路が完成すれば新たな交流が生まれる可能性もある。

(担当/阿部、平尾)



ホーム上階 提供: JR 東日本



ホームを望む 提供: JR 東日本

三田台公園

リニューアルされた三田台公園へ行ってみよう!

三田4丁目にある三田台公園では、令和2(2020)年5月より9月に懸けて三田台公園整備工事が行われ、新しく模様替えした姿を見せています。新設された園路を挟み、数種類のウメの木、ツツジ、レッドロビンなどが植栽され、開花の日を待っています。

また、この公園は、災害活動拠点公園に指定されていることから、併せて災害用施設整備工事も行われ、災害用トイレ、かまど機能付きベンチ、ソーラー照明灯、などが新たに設置されました。

一方、三田台公園は区内唯一の遺跡公園としても知られています。

園内には、昭和53(1978)年7月から約1年半にわたって行われた伊皿子貝塚遺跡の発掘調査で発見された、縄文時代の竪穴式住居が再現されていて、中をのぞくと古代に住んでいた家族の暮らしの様子を見ることが出来ます。また、伊皿子貝塚で発見された貝塚層の断面が復元されたものが展

示されていて、この貝塚層から、当時の人々の食べ物や生活のあり様が推測されると言われています。

公園の敷地は江戸時代は、上野沼田藩土岐氏の下屋敷だったが、明治維新後は旧華頂宮邸となり、当時使われていたとおもわれる井戸や外壁の一部もそのまま残されています。

今回整備された部分も含め公園の総面積は約5,698m²となり、きれいに

整備された広場は、地域の子どもたちが運動出来る場として、人々が集う交流の場として、さらに機能性を備えた災害時の活動拠点公園として、期待され、にぎわっていくことでしょう。

古代に思いをはせる遺跡や、新たに季節の花々に囲まれる園庭を併せ持つ三田台公園、その魅力を探りに出かけてみてはいかがでしょうか。

(担当/吉田、平尾)



再現された竪穴式住居と貝塚



現在の三田台公園



整備後のイメージ図

この街にこの人あり

独立行政法人地域医療機能推進機構理事長（JCHO）
 新型コロナウイルス等対策閣僚会議新型コロナウイルス等対策有識者会議会長
 兼新型コロナウイルス感染症対策分科会長

尾身茂先生

感染爆発を防ぐには予兆となる指標の設定が重要です

以前このコーナーでご登場いただいた尾身茂先生は、日本の新型コロナウイルス感染症対策の専門家を中心として活躍されています。お忙しい中、2020年7月28日、高輪にあるJCHO本部にて、コロナ感染症対策を主に、再度お話を伺いました。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の副座長を務められていかがでしたか。まとめ役としてご苦労が多かったのでは

専門家会議が発足したのは2月14日で、国内状況は感染者数も少なく、最初は、クルーズ船で発生したコロナ患者の対応を求められ、その後10日に一度政府の会議に出席して、意見を述べる程度の義務でした。

専門家の中には、感染に詳しい方やWHOで働いた方など海外事情に詳しい方がおられて、このままでは国内に感染が広がり大変なことになるだろうと直感し、自主的に集まって議論しようということになりました。毎晩、夜11時ごろまで白金台の医科研の会議室に集まって対応策を検討していました。専門家会議は何を提言したのか、歴史に残ることになるので、メンバーのみなさん、真剣に取り組みました。

そのうち、次第に国内で感染者が広がり、このまま、何もしないと大変なこと

になると、政府に対応を求めするために記者会見を行いました。それが80%外出制限など政策に反映されると、専門家会議が政策を決めているような印象を与えてしまったのです。

緊急事態宣言を出されたタイミングはいかがでしたか

ぎりぎりでした。この日より2、3日遅れると感染は爆発的に広がってしまっただけでしょう。これより前だと国民はなかなか納得しなかったのではないのでしょうか。

これまでの日本のコロナ感染症対策について、先生はどのような感想をお持ちですか

3密（密閉空間、密集場所、密接場面）回避、人との接触8割削減、クラスター対策という方法は日本が初めて言い始めたのです。これがあつた程度成功したと言えます。クラスター感染者がどのような状況で起きたのか、またその後どのような行動をとったのか詳細に分析した結果、このような結論に達しました。

コロナウイルスには、インフルエンザなどと違って変わった特徴があります。

5人の感染者がいたとすれば、5人の濃厚接触者すべてが感染するのではなく、そのうちの1人の感染者の濃厚接触者が感染するのです。

欧米、中南米諸国に比べて、いままで日本のコロナの感染がある程度抑えられているのは、保健所・病院などの医療体制、クラスター対策、日本人の健康に対する意識、ハグなどをしない日本の国民性に起因していると思います。

日本では他国に比べてPCRの検査数は少ないと言われています。もっとPCR検査数を増やすことはできないのでしょうか

（PCR検査者数/死亡者数）の割合を見ると、日本は比較的高いです。つまり、死亡者数に対して、PCR検査数が決して少ない訳ではないのです。

しかし、熱など症状があつて検査を受けたい方、これから海外に出張する人、多く人と接する職業の方などに容易に検査を受けられる体制が必要です。

検査結果の確度が70%程度であること、検査結果が陰性であっても、コロナに感染していないという保証はその日だけなのです。

検査数だけを増やしても、コロナの感染者数を抑えるとは必ずしも言えないのです。他の対策と同時に実施する必要があります。

天皇陛下にご報告されたようですが、どのような言葉をかけられましたか

コロナの感染に強い関心をお持ちで、天皇陛下、皇后陛下とも鋭い質問をされました。医療従事者への感謝のお言葉がありました。

現在、新型コロナウイルス感染症対策分科会の会長を務められていますが、分科会の役割はどのようなことですか

分科会は、感染を抑えるというだけの視点ではなく、社会、経済に与える影響などを総合的に配慮し、バランスを考えながらどのような対策をとるかという方針を決める会議です。

分科会での方針は

緊急事態宣言の行動規制を100とし、なにもしない状態を0とすれば、その中間段階の行動規制を行うための予兆となる指標の作成を検討しています。

「医療提供体制への負荷」（特に都市部は重視）、検査体制への負荷、公衆衛生への負荷の3つの指標を示しています。

予兆の指標に達したら、それに対応した規制を行います。それで爆発的な感染の拡大を防ごうというねらいです。

ウイルスが少しずつ変化しており、東京がニューヨークのように発生源（エピセクター）になる可能性はありますか

中国型のウイルスからヨーロッパ・アメリカ型のウイルスと変化しています。東京型のウイルスもまた変化していますが、その変化はそう大きくない。日本社会の全体の対応から判断すると東京がニューヨークのようにエピセクターになる可能性は少ないと思います。

保健所・病院など日本の医療体制は大丈夫でしょうか。今後の改善点は

保健所は人員の確保が必要です。単純作業をするアルバイトだけではなく、ある程度、専門的知識を持ったスタッフの確保が必要です。

これから感染者が増えるともベッドの確保が求められます。軽症者は自宅またはホテルのベッドの確保、重症者は早く回復できる病院のベッドの確保が必要ですね。

ワクチンが開発されるのに、どの位時間がかかりそうですか。治療薬の開発には時間がかかりますか

遺伝子操作でできるワクチンは早くできるが、効果があるかどうかは不透明です。ワクチンは日本では従来通りの方法で開発を行っているので、1年以上かかると思います。ワクチンができて、投与して効果のない人もいるので安心はできません。



治療薬は重症化を防ぐ効果のある薬が開発されつつあります。重症患者はこれから減ってくると思います。

どちらにせよ、コロナウイルスが完全になくなる訳ではないので、ウィズコロナの時代が永く続くのではないのでしょうか。

新しい生活様式に向けて、今後我々が一番注意を必要とすることは

3密を避ける、ソーシャルディスタンスに気をつける、よく手を洗う、マスクをする、大声で話をしないなど今まで行っている基本的な生活様式を守ることが大事です。

空気感染ではないので、外に出れば感染するという可能性は限定的だと思えます。基本的な生活様式を守れば、感染リスクは少ないと思います。

国民一人一人がモラルを持って行動することが大事です。あまり神経質になりすぎないように。

先生の健康法は

夜11時ごろまで続く会議が多いので、剣道の練習をする時間もないし、スポーツクラブにも最近行けてないのです。やはり運動不足です。車の移動中に車の中で上半身を動かす体操をしたり、寝る前に20分位ストレッチをしたりしています。

（担当／安藤、松島、伊関、小林）



【プロフィール】尾身茂（おみしげの）

1949年-東京都生まれ。1978年-自治医科大学医学部卒業。1990年-世界保健機関西太平洋地域事務局感染症対策部部長。1999年-世界保健機関西太平洋地域事務局事務局長。2012年-新型コロナウイルス等対策閣僚会議新型コロナウイルス等対策有識者会議会長。2013年-世界保健総会会長。2014年-地域医療機能推進機構理事長。2020年-新型コロナウイルス感染症対策本部新型コロナウイルス感染症対策専門家会議副座長。2020年-新型コロナウイルス等対策閣僚会議新型コロナウイルス等対策有識者会議新型コロナウイルス感染症対策分科会長

上皇陛下・上皇后陛下、仙洞仮御所に

令和2(2020)年3月31日午後、上皇陛下・上皇后陛下は仙洞仮御所に到着されました。マスクをされていたが、車の窓を開けられ、沿道に並ぶ方々に手を振られていました。港区及び周辺町会から歓迎の花束が贈呈されました。



仙洞仮御所に到着された上皇陛下・上皇后陛下
提供：宮内庁

① 高松宮邸と光輪閣

天神坂で親子2代、昭和の初期から酒屋(カドヤ)を営んでいた西廣保之さん(78才)のお話。

「高松宮邸本館は昭和21(1946)年、当時の貿易庁の迎賓施設「光輪閣」として使用されました。かつて宣仁親王の国際関係特別秘書官であった川添浩史さんを支配人に据え、連合軍総司令部の高官や大使、公使などの接待、結婚披露宴を催す施設に転用されました。カドヤは光輪閣から酒の注文を受けていました。生ビールは恵比寿の工場に行き、仕入れていました。当時、高級なウイスキーは仕入れの数に限度があり、仕入れに苦労しました。私は父と一緒に車で光輪閣に酒を配達しました。地下の駐車場に車を停め、そこから宴会場に運びました。庭でガーデンパーティが催されたこともありました。」



当時の光輪閣の外観(現存しない)

③ 松ヶ丘住宅地

昭和21(1946)年3月、恩賜財団同胞援護会が設立され、総裁として高松宮宣仁親王を奉戴しました。昭和23(1948)年同胞援護会により、戦災で家を失った家族、引揚者のための住宅地、松ヶ丘住宅地が建設されました。碁盤目状の道路で区画された土地に、同じ間取りの木造平屋建て住宅87戸が建てられました。当初道路は舗装されてなく、土のままでした。高松宮様は住宅地の中を警護もなく、気楽に散歩されていました。地域に集会所、広場、児童遊園があり、住民はよく利用していました。



松ヶ丘住宅地を散策する高松宮殿下
(当時の住宅は現存しない)

戦災を受けた同じ境遇の方なので、地域の住民の結束は固く、火災が発生した時は、地域の住民がバケツリレーをして消し止めた記憶があります。(安藤洋一77歳)

地域のあしあと 仙洞仮御所のあゆみ

令和2(2020)年3月31日、上皇陛下ご夫妻におかれましては、我が高輪の仙洞仮御所にお移りになりました。みなとっぶ42号では、心からの奉迎の意を込めて、ここに至るまでの周辺の歴史を含め、ご紹介します。



近隣商店街に今でも掲げられている提灯

第2次世界大戦後、約6万m²あった高松宮邸の敷地は1万m²になり、高松中学校、高輪一丁目都営アパート、松ヶ丘住宅地、高輪区民センター、宮内庁宿舎などに払い下げられました。



『増補 写された港区=(高輪地区編)』/港区立郷土歴史館所蔵
▲黒門 明治、大正、昭和と宮邸のシンボルとして親しまれたが、昭和29(1954)年、国の重要文化財の指定を受け東京国立博物館に移築された。

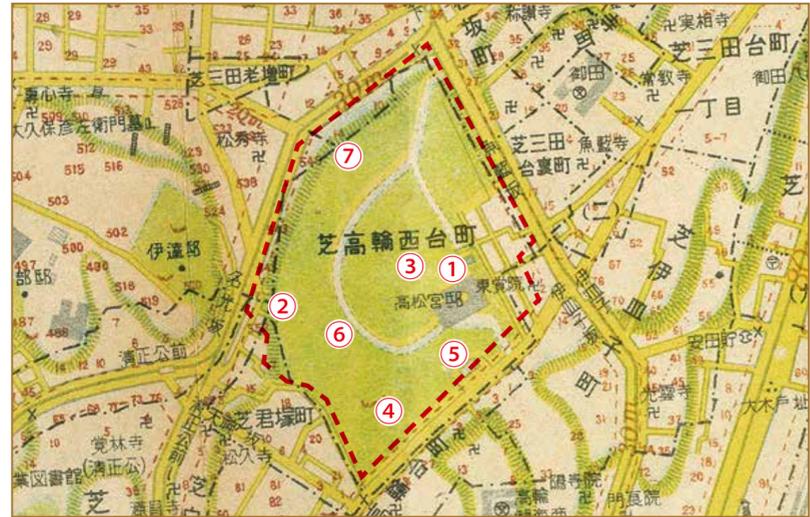


⑥ 大石良雄他16人忠烈の跡表門



⑥ 大石良雄他16人忠烈の跡
大石良雄他16人忠烈の跡の内部(普段は公開されていない)

▼朱線内が細川家中屋敷の範囲。周辺に多くの抱え屋敷を持っていた。



▲昭和22(1947)年の高松宮邸。当時は、現在の魚籃坂下付近にも御門があり、そこから邸内に向けて車路が続いていた。(『増補港区近代沿革図集 高輪・白金・港南・台場』(港区立郷土歴史館所蔵))

▼令和2(2020)年現在



② 高松中学校開校当時の思い出

1期生 堀野又夫さん

高松中学校は昭和24(1949)年に開校し、最初は白金小学校の仮校舎で授業を受けました。高松宮邸の敷地であったこの土地は、最初、農業地にして食べ物を供給する予定でしたが、高松宮様のぜひ教育の場を提供したいという強いご意思により高松中学校用地になりました。校舎ができると各自、白金小学校から自分の椅子を高松中学校に運びました。生徒数は329人と多かったですが、最初の校舎は狭く、6クラス2部制で行いました。校舎は木造で冬は暖房もなく、寒かったです。その後、2回増築しました。体育館もなく、第1回卒業式は外の運動場で開催されました。第1回卒業式には高松宮様をご臨席になり、宮様が通られる道に赤絨毯が敷かれていました。大きな会合・式典がある時は、教室の仕切りをとり、3教室を一つの部屋にして行いました。校庭の中央には松がありました。横に長く、走路は直線で100mとれました。水泳の授業は旧高松宮邸の中のプールを宮様のご好意で使わせていただきました。用務員さんがバrelを持って始業を知らせに歩いていましたが、横に長い校舎なので最初の教室の始業の時間と最後の教室の始業の時間に差がありました。



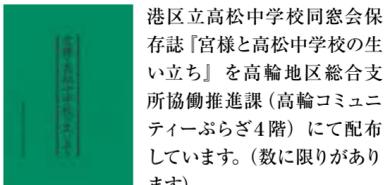
高松宮邸内プールでの水泳授業
(高松宮妃殿下も参観)



運動場で行われた第1回卒業式
提供：高松中学校同窓会



高松宮殿下がデザインされた校章



港区立高松中学校同窓会保存誌「宮様と高松中学校の生い立ち」を高輪地区総合支所協働推進課(高輪コミュニティーぶらざ4階)にて配布しています。(数に限りがあります)

④ 高輪一丁目都営アパート

高輪一丁目都営アパートに最初からお住まいの嶋口和彦さん(78才)のお話。

「昭和23(1948)年都営アパートが建てられ、目白から高輪に引っ越してきました。入居者の選定は厳しかったようでした。GHQの後押しにより、日本で戦後、最初に建てられた鉄筋コンクリートのアパートでした。最初は2棟建てられました。風呂はなかったですが、当時最先端の水洗トイレがありました。その後、7棟建設され全部で9棟になりました。8棟は4階建てで、1棟は3階建てでした。エレベーターはなかったですが、しっかりした建物で停電、断水は一度もなかったです。」



仙洞仮御所に植えられた
プリンセスミチコ



⑦ 旧細川邸のシイの木 提供：東京都教育庁
樹齢400年ともいわれる旧細川邸のシイの木は、東京都天然記念物に指定され、現在は高輪地区総合支所の裏手の高台にその姿をみせている。



仙洞仮御所のあゆみ

仙洞：上皇の御所。「仙洞」が皇居とは別に設けられたのは、9世紀初頭・平城天皇の平城宮に始まる。

細川家

- 寛永21(1644)年 細川家が下屋敷として拝領(約2万坪)…⑦
- 元禄15(1702)年 赤穂浪士討ち入り 大石内蔵助以下16人が細川家に預けとなる。細川家は、赤穂浪士を主君の仇を討った武士の鑑として接待。
- 元禄16(1703)年 大石内蔵助等17人切腹 切腹の場所は、表座敷前庭だったと伝えられる…⑥
- 文政10(1827)年 明治維新 中屋敷と唱替
- 明治元(1868)年 明治維新
- 明治5(1872)年 武家地に新たに高輪西台町が起立
- 明治6(1873)年 海軍病院が芝町からこの地へ移転。高輪周辺には海軍関係の施設が多く残っている。

高輪御料地

- 明治22(1889)年 宮内省高輪御料地
- 明治23(1890)年 9月宮殿造営の起工
- 明治24(1891)年 明治天皇第六皇女(常宮)、第七皇女(周宮)の御殿となる(高輪御殿)
- 明治25(1892)年 高輪皇女御殿竣工 宮邸の表門に、黒門が移築…⑤(馬場先門近くの因州鳥取藩上屋敷の門だった)

東宮仮御所(皇太子裕仁親王) 東宮御学問所(総裁東郷平八郎)

- 大正2(1913)年 1月 建増しに着手 12月 竣工
- 大正3(1914)年 ~大正10年(1921)まで過ごされる
- 大正12(1923)年 関東大震災 高輪御殿全焼

高松宮邸

- 昭和2(1927)年 高松宮殿下 趙町三年町邸より高輪御料地内高輪仮御殿に移居
- 昭和5(1930)年 高松宮同妃両殿下ご成婚
- 昭和6(1931)年 高松宮邸竣工(2,100m²)
- 昭和10(1935)年 ~13年2月 山階宮常子妃、高輪御料地内仮御殿に居住
- 昭和16(1941)年 ~昭和20年(1945) 太平洋戦争

戦後、敷地の分筆が進み、住宅地・学校用地等へと変貌

- 昭和21(1946)年 高松宮は当時の貿易庁の迎賓施設「光輪閣」として使用…① ご夫妻は木造平屋建ての和館に起居
- 昭和23(1948)年 高輪一丁目都営アパート建設…④ 松ヶ丘住宅地建設…③
- 昭和24(1949)年 港区立高松中学校創立…②
- 昭和29(1954)年 黒門移築
- 昭和46(1971)年 光輪閣が老朽化により取り壊される
- 昭和48(1973)年 跡地に平屋建ての宮邸を建設
- 昭和62(1987)年 高松宮宣仁親王薨去
- 平成16(2004)年 喜久子妃薨去 高松宮邸は、高輪皇族邸として、宮内庁管理下に置かれる
- 令和2(2020)年 3月 上皇・上皇后両陛下が御移居になり、仙洞仮御所となる

参考文献：岡本哲志監修「古地図で歩く天皇家と宮家のお屋敷」平凡社 学習院大学史料館「写真集近代皇族の記憶 山階宮家三代」吉川弘文館

港区立郷土歴史館・宮内庁宮内公文書館共催 特別展 「港区と皇室の近代」	
開催期間	10月17日(土)~12月20日(日)
所在地	港区白金台4-2(ゆかりの杜内)
観覧料	特別展のみ 大人400円 小中高生200円 常設展七小券 大人500円 小中高生200円 ※区内在住・在学の小中高生、区内在住65歳以上の方、区内在住の障害者とその介助者(1名)の観覧料は無料(証明ができるものを持参ください。)
開館時間	午前9時~午後5時(土曜日のみ午後8時まで) ※入館受付は閉館の30分前まで
会期中休館日	11月19日(木)・12月17日(木)
連絡先	03-6450-2107

(担当/安藤、吉田、伊関、小林、近藤、滝川、平尾)

With コロナ時代の新しい生活様式

新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響は私達の生活に大きな変化を与えました。

テレワークの普及などで働き方が変わり、学校も休校になり、大勢での会合、イベントなどが自粛され、人と人との接触を避ける、不要不急の外出制限も厳しく求められるようになりました。

この地域で営業されている方、お住まいの方にこの困難な状況を乗り越えるための、新しい生活様式について取材しました。

このような時こそ、家庭内の結束、地域での相互の協力が大切だと実感しています。

テイクアウトと全国配送に力を入れる飲食店

近頃、商店街を歩くと「テイクアウト」、「お持ち帰り・・・」などの表示が、至る所で目に入ってきます。

緊急事態宣言発令後、多くの業種（店舗）の方々が経済的な打撃を受け、ご苦労されている中、特に飲食業界へも多大なる影響があったとメディアが連日伝えております。

このような苦境を、前向きに捉え頑張っている白金台のミシュラン一つ星フランス料理店を取材しました（令和2（2020）年7月15日）。

こちらの店舗では、テイクアウトやデリバリーは勿論のこと、四月からは全国配送可能なお取り寄せメニュー（冷凍）も開発されました。全国展開を始めるにあたり新たに設備投資も行わねばならず、さまざまなご苦労もあったそうですが、ホームページ等の活用により、全国からの注文が入り、新しいお客様の来店にも繋がったそうです。ウェブによる発信は、これからの経営戦略のひとつの柱になると確信されたとの事です。

メニューを開発する上で、テイクアウトやデリバリーには、すぐに食べられ、冷めても美味しい料理、あるいは温め易い料理を選びました。お取り寄せメニューでは、コース料理でも単品料理でも家庭に居ながらにしてフランス料理の味を堪能できる様に工夫しました。料理の盛り付けやテーブルセッティングにより、そのご家庭の独自性を加えて、来店時とは違う楽しみ方を味わって頂きたいとの事です。

コロナウイルスの感染が今日のように拡大しなければ、テイクアウトや冷凍食品の全国販売を考えるとなかったそうですが、全国に店の味を広める事を目標にされているようです。

店の方々の前向きな姿勢や新型コロナウイルス感染予防への真摯な取組を取材して、私達も新生活様式をしっかり身に付け、責任ある行動をとりたいと思いました。



お取り寄せメニュー



頑張れ！北里研究所！応援チケットキャンペーン

空前のコロナ禍の中、心温まる話を耳にしました。

早速、白金北里通り商店会の佐藤伸弘会長にお話を伺いました。

コロナが流行り始めた頃、あるお店から、北里研究所の医療関係者や研究者の方々に応援したいという申し入れがあり、北里研究所病院長の渡邊昌彦先生にお声がけしたところ、ゴールデンウィーク中なら、患者さんも少ないし、構内に入ってもいいというお許しをいただきました。

店側は、ハンバーガーの包装紙1枚1枚に感謝と応援のメッセージを書き、約束当日11時にお届けしたのです。



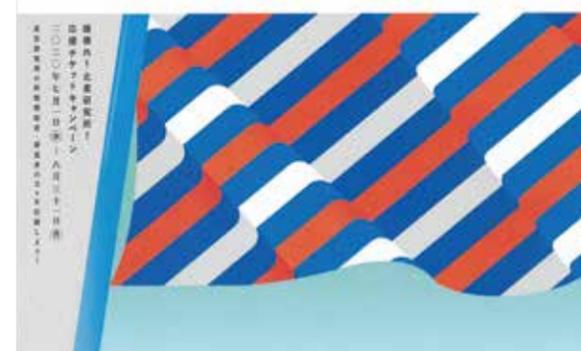
参加店名が入ったフラッグが下がった街路灯は、商店街を明るく飾りました。

この話に感動した北里研究所病院医師で、「食・楽・健康協会」理事長の山田悟先生は、お礼の心を込めて、応援チケットキャンペーンを思いついたそうです。医療関係者・研究者と街とが一緒になって、コロナウイルスに負けぬように盛り上がり、街をあげてのつながりを作り、広げていこうというのです。

これに対し、商店会も大賛成！34店舗が参加することとなり、チケット持参の方に、お店ごとに其々ちよっと違った特典「その日のキモチ」を付ける事にしました。酒屋さんは日本酒の試飲を、飲食店はつき出しを、文房具屋さんは筆記用具を、等々工夫をこらしました。商店会も、街路灯のフラッグに参加各店舗の名を入れて、キャンペーンを盛り上げています。

佐藤会長も、「買い物に行っても、食事をして大丈夫と思われるような商店街にしたい。本当の意味でのwithコロナを達成する取り組みです！」と大いに意気込んでいらっしゃいます。

CHEER UP! 北里研究所



応援を呼びかけたパンフレット

テレワーク — 働き方の変化

この半年で急速にテレワークが進み、働き方が変化しました。実際にテレワークを行っている方にお話を伺いました。

●現在の勤務状況はいかがですか？

緊急事態宣言時に、在宅勤務となりました。宣言明け後は基本は在宅勤務ですが必要に応じて出勤可能となりました。今は、部署によっては出勤日数の多い人もいますが、私は月に1回出勤する程度でほとんど在宅勤務です。会議はオンライン会議、経理上の手続きもパソコンでできるので出勤の必要性はあまりありません。

●在宅勤務になつての変化は？

まずWi-Fi環境を整えました。ネットさえつながれば、オンライン会議もできますし、また、ワーキングスペースを整えました。モニターやケーブルなど意外と出費がありました。

小さなお子さんがいる方、特に学校がお休みの時には集中できなかったという声も多かったです。オンライン会議をしていると、後ろの方でお子さんの声が聞こえたり、宅配便が訪ねたり、ほっこりするような時もよくあります。

●テレワークでよかったところは？

往復1時間半の通勤時間がなくなり、時間を有効活用できるようになったことです。少し早起きをして、散歩をしたり、朝型の生活に変化しました。子供の世話や介護に充てることができるという話も聞きました。オンライン会議もリアルでやっているのと概ね変わらないので、業務上大きな支障はありません。むしろ遅刻しなくなりました(笑)

また、オンライン飲み会が急速に普及し、遠方の友人や、さらには海外からも、場所と時差を超えて会話ができるようにもなりました。今年の同窓会はオンラインで実施しました。これもテレワークが進んで、皆さんがオンラインに慣れたということだと思います。

●逆に、テレワークで困っていることは？

一日中パソコンの前で会議をしていることも多いので、運動不足です。労働時間は増えている気がします。目も疲れやすね。また、オフィスにいれば周囲の社員とちょっとした会話をし、何気ない話が仕事に役立ったりしますが、こういったコミュニケーションがとれないのが困りごとです。特に社員教育は悩みの種です。リアルで顔色や表情などを見ていれば変化や様子がわかりますが、テレワークだとそうはいかない。こまめに電話をしたり、オンライン会議をしたりしてコミュニケーションをとるように心がけています。

●今後はどうなるとお考えですか？

コロナが収束しても、テレワークは後戻りはしないと思います。“痛勤”ラッシュは無駄、報告会ならオンライン会議で十分、出張も不要、時間の使い方の自由度アップなどテレワークのよさに気が付いた人が多いと思います。ただ、パソコンの貸与がない、出勤を強制されるなど、企業のテレワーク推進ができていないところもあると聞きます。

社会全体でよいところは取り入れ、感染リスクを下げ、コミュニケーションがとれるような、新しい働き方にみんなで取り組むべきだと思います。



小・中学生・高校生を持つ家庭の生活の変化

小・中学生、高校生を持つご家庭の方々に、アンケートを行い、コロナ禍による生活の変化についてお尋ねしました。小学生を持つご家庭の方が5家族、中学生を持つご家庭の方が1家族、高校生を持つご家庭が2家族でした。小・中学生、高校生は休校になっている期間です。

ご夫婦とも働いているご家庭が多く、コロナ禍により、テレワークなどで親が在宅する時間が多くなったと回答される方がほとんどでした。右記が個々のご家庭の方の感想です。



ソーシャルディスタンスを保って並ぶ児童達
提供：白金小学校

●生活変化で良かった点

- 時間に余裕ができたので、心に余裕ができて子どもにやさしくなった。
- 一緒に過ごす時間が増えた分、何気ない会話などが増えたと思います。
- 子どもと過ごす時間が増えた。特に父親が子どもと過ごす時間が増えた。
- 平日の普段の子どもの生活が見えるようになった。
- 関係は変わらないが、会話の時間や一緒にテレビを見たり共有時間が増えてよかった。
- 子どもが休校となり、在宅時間が長かったため、以前よりも増して家事の手伝いを心掛けるようにさせたこと。また、本人も料理に興味を湧いて参りました。
- 子ども自身の自由時間が増え、お料理やおそうじをしてくれるようになったので、親の自由時間が増えた。
- お互いの新たな一面を知ることができ、信頼感が増した。

●生活変化で悪くなった点

- ずっと一緒なので、持て余す感じもありました。
- イライラを感じることも増えてしまいました。
- 喧嘩が増えました。親子、姉妹など。お友達に会えない、遊べないのはお互いにつらいと実感しました。
- 週末お出かけする機会が減った。

●まとめ

コロナ禍により、家族が家で過ごす時間が長くなって、精神的にイライラすることが増える反面、かえって家庭の結束が高まり、子どもたちの自立心が高まったり、親と子の普段の生活の様子が理解できたり、よい面が強調されていました。



全校朝礼の代わりに教室で校長先生の動画を見る様子 提供：白金の丘学園白金の丘小学校



区からのお知らせ

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。

事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係

5421-7612 / 保健福祉係

5421-7085

コミュニティ・カフェ 高輪案内



9月に再開したミニ講演会

高輪地区CCクラブが中心となり、高輪地区総合支所協働推進課、高輪地区民センターと協働で運営し、地域の活性化を目的にしているカフェです。

高輪地区の3か所(区民センター、HUG高輪、ゆかしの社区民協働スペース)でカフェとミニ講演会を定期的に行っています。新型コロナウイルスの感染者が増加したため3月から8月まですべてクローズしていましたが、10月からできることから開催を検討しています。2月以前は訪問者がコーヒーを楽しみながら交流することを大切にしていたが、新しい様式で地域との触れ合いを大切にしたいと考えています。

再開については、区民センター内のポスターやCCクラブホームページで案内いたします。お会いできる日を楽しみにしています。

登記所備付地図作成作業のお知らせ

東京法務局では、下記作業実施地区において、公共基準点に基づく精度の高い地図(不動産登記法第14条第1項に定める地図)を作成します。地区内の土地の所有者様には、土地の境界確認の立会いなどにご理解とご協力をお願いします。

作業実施地区

三田三丁目、四丁目の一部地区

作業期間

令和2(2020)年9月から
令和4(2022)年3月まで

詳細については、東京法務局ホームページをご覧ください。

<http://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/>

問合せ先

東京法務局不動産登記部門
地図整備室
TEL 03-5213-1414(直通)



港区まちづくり条例を活用したまちづくりの仕組みのご紹介

港区では、地域の課題は地域で解決し、地域の発意と合意に基づくまちづくりを推進するため、地域主体のまちづくり活動を支援しています。

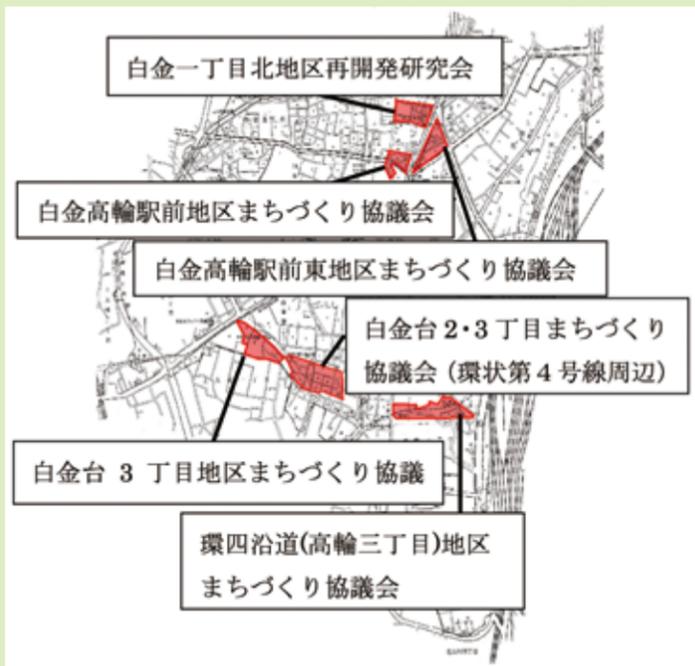
現在、高輪地区内で組織登録されているまちづくり組織は右図のとおり6団体あります。(令和2(2020)年4月1日時点)

興味のある方は、各総合支所まちづくり課まちづくり係までお問合せください。

まちづくり制度の手順

- STEP 1** みんなでまちについて考える
自主的なまちづくり活動を始めるようとする段階
- STEP 2** 活動の輪を広げる
まちについて考えていくため「まちづくり組織」をつくる段階
- STEP 3** 将来像を共有する
地域の区民のみならず考え方を共有する段階
- STEP 4** まちのルールをつくる
具体的なまちづくりルールを決めていく段階
- STEP 5** まちづくりを実践する

【問合せ先】高輪地区総合支所まちづくり課まちづくり係 TEL:03-5421-7664



この度、高輪地区の情報を広く発信していくため、高輪地区総合支所の公式Twitter(ツイッター)のアカウントを開設しました。高輪地区で開催されるイベントや地域のできごと、防災や環境美化など様々な情報をお届けします。ぜひフォローをよろしくお願いします!

高輪地区総合支所 ツイッター 検索



本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。 みなとつば バックナンバー

編集だより

▼お忙しい中、尾身先生からお話をうかがえて本当によかったです。感染症の専門家の方々が国民の命を守るために、身を削って最善の努力をされている様子がよくわかりました。大変な役割を引き受けておられるのに、頭が下がります。また、コロナ感染禍で先が見えない中、地域の方々が前向きにいろいろ工夫されて取り組んでいる様子をお伝えできてよかったです。これからの生き方の励みになります。(安藤)

▼ここ高輪の地に上皇陛下ご夫妻をお迎えすることとなり、昔から高輪にお住まいの方々には旧高松宮邸やその周辺にまつわる話を伺いました。宮邸と住民との心温まるエピソードの数々、そのすべてを掲載できなかったことが心残りです。(吉田)

▼十年とか二十年ぶりとかで地方都市に出かけると、その変貌ぶりに驚くことがあります。先日も千葉県のある駅を訪れて時の変化を実感しました。我が街も変わってきているのでしょうか、住んでいると意外にその変化に気が付かないことがあります。今号から編集のメンバーに加わりました。そんな変化を少しでも伝えられれば、と思っています。(阿部)

▼空前のコロナ禍の中の情報紙の編集、このような末端のところまで変化を求められています。これからのウィズコロナの時代でも少し楽しみたいと思います。(伊関)

▼地域のことをもっと知りたいと、今回から編集メンバーに加えていただきました。諸先輩方にご指導いただきながら、自分なりの視点で街を捉え、情報発信できればと思います。よろしくお願います。(小林)

▼新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活様式が大きく変化してしまいましたが、この苦難に立ち向かっている方々への取材を通して、多くの勇気をいただきました。(近藤)

▼旧高松宮邸とその周辺のこと、近隣の方々の思い出話は、とても興味深く貴重です。高松宮様ゆかりの高松中学校。戦後運動会の際、宮様が飛び入りで走られたこともあるそうです。(滝川)

▼取材していると、港区には色々なところの良い写真があちこちにあることが分かります。皆さんに伝えたい方が良い写真を探して伝えることが出来ればと思います。(平尾)

▼コロナ禍の中、取材にご協力頂いた皆様には、本当に感謝です。皆さんとても前向きに取り組んでいらっしゃるし、こちらも元気を頂きました。発行の時の状況がどうなっているか心配ですが、インフルエンザも含め、穏やかな秋を迎えられていることを祈っています。(松島)

区民編集メンバー

安藤 洋一(チーフ)	滝川 まりえ
吉田 由紀子(サブチーフ)	戸部 田伊織
阿部 泰	平尾 恭一
伊関 則子	松島 佐紀子
小林 由夏	
近藤 悦代	